

去る10月31日、農学部16番講義室において、農学部教職員・学生を対象とした救命講習が開催されました。

伊那消防署の協力のもと、心肺蘇生法（人工呼吸、胸骨圧迫）及びAEDの使用方法について講義と実習が約2時間行われ、36名（教職員28名、学生8名）の参加がありました。

参加者からは、「気道確保は、あごをどの程度上げればよいか。」、「大量出血をしている場合でも同じ処置方法でよいのか。」、「人工呼吸ができないような場合は、どうすればよいか。」等の熱心な質問が出され、実践的で活発な講習となりました。

来年度も実施予定ですので、今回参加できなかった教職員・学生は、ぜひご参加ください。

なお、本年10月末に本学部図書館と旧SUNS会議室との間にAEDが設置されました。



写真：上：AED実施訓練  
中：講義  
下：人工呼吸訓練